



# ゾーン分割の構成、リリース

## 12.2.1

# 目次

新規情報および変更情報 .....	1
ゾーン分割 .....	2
拡張ゾーン分割 .....	5
CFS .....	7
ゾーンの移行 .....	10
ゾーンセット .....	11
Zones .....	12
FC エイリアス .....	16
メンバー .....	17
アクティブゾーン .....	21
通常ゾーン .....	21
IVR ゾーン .....	21
著作権 .....	23

# 新規情報および変更情報

次の表は、この最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

リリースバージョン	特長	説明
以前のリリースからの大きな変更はありません。		

# ゾーン分割

ゾーン分割により、ストレージ デバイス間またはユーザー グループ間でアクセス コントロールの設定ができます。ファブリックで管理者権限を持つユーザーは、ゾーンを作成してネットワークセキュリティを強化し、データ損失またはデータ破壊を防止できます。ゾーン分割は、送信元/宛先 ID フィールドを検証することによって実行されます。

SAN コントローラ リリース 12.0.1a 以降、通常のゾーンと IVR ゾーンが単一のゾーン分割ページにマージされます。



Web UI でゾーン分割にデバイス エイリアスを使用する場合、エンド デバイスはファブリックにログインする必要があるため、

Web GUI はデバイス エイリアスを使用してゾーン分割を構成できます。エンドノードにログインしていない場合は、ゾーン分割に PWWN を使用できます。

次の表では、SAN コントローラの **[管理 (Manage)] > [ゾーン分割 (Zoning)]** タブに表示されるフィールドとアイコンについて説明します。

フィールド	説明
ゾーン分割のタイプ	通常のゾーン タイプと VSAN 間ルーティング (IVR) ゾーン タイプのサポートを提供します。 <b>[通常 (Regular)]</b> または <b>[IVR]</b> の横にあるオプション ボタンを選択して、必要なゾーン分割タイプを選択します。
ファブリック	ゾーンを構成するファブリックを指定します。  管理者がファブリックをロックしている場合、ファブリック フィールドの隣にロック アイコンが表示されます。
VSAN	通常のゾーンを構成する VSAN を指定します。  このフィールドは、 <b>[ゾーン分割タイプ (Zoning Type)]</b> フィールドで <b>[通常 (Regular)]</b> を選択した場合のみ有効になります。
地域ID	IVR ゾーンを設定するリージョン名を指定します。  このフィールドは、 <b>[ゾーン分割タイプ (Zoning Type)]</b> フィールドで <b>[IVR]</b> を選択した場合のみ有効になります。
拡張ゾーン分割	スイッチに拡張ゾーン分割機能を構成します。 <b>[VSAN]</b> テキスト フィールドの横にあるアイコンをクリックして、拡張ゾーン分割ウィンドウを表示します。   拡張ゾーン分割は通常ゾーンでのみサポートされています。  詳細については、 <b>「拡張ゾーニング」</b> セクションを参照してください。

フィールド	説明
Cisco Fabric Services (CFS)	<p>スイッチで CFS を設定します。[リージョン ID (Region ID)] フィールドの横にあるアイコンをクリックして、CFS ウィンドウを表示します。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 2px solid blue; width: 20px; height: 20px; margin-right: 10px;"></div> <div> <p>CFS は、MRゾーン分割でのみサポートされます。</p> </div> </div> <p>詳細については、<a href="#">CFS</a>の項を参照してください。</p>
スイッチ	ゾーンに追加するスイッチを指定します。
Actions	<p>[ゾーン分割 (Zoning)] 領域で、[アクション (Actions)] をクリックして次の項目を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変更</li> <li>・ データベース</li> <li>・ サーバーキャッシュを消去</li> <li>・ 検出同期</li> <li>・ ゾーン分割されていないエンドデバイスの表示</li> <li>・ ゾーンの移行</li> </ul>
変更	<p>[ゾーン分割 (Zoning)] 領域で、[アクション (Actions)] &gt; [変更 (Changes)] の順に選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートゾーン分割を有効にする：すべてのスイッチのスマートゾーン分割設定を有効にします。</li> <li>・ 変更のコミット：ゾーン分割設定の変更をすべてのスイッチにコミットします。このフィールドは、ゾーンが拡張モードまたはスマートモードの場合にのみ適用されます。</li> <li>・ 保留中の破棄：保留中の変更の破棄を実行中です。</li> </ul>
データベース	<p>[ゾーン分割 (Zoning)] 領域で、[アクション (Actions)] &gt; [データベース (Database)] の順に選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベースのバックアップ：現在の VSAN またはすべての VSAN をバックアップできます。</li> <li>・ [データベースの復元 (Restore database)]：VSAN を復元できます。</li> </ul>
サーバーキャッシュを消去	サーバー上のキャッシュをクリアします。
検出同期	ゾーン分割モジュールを検出と同期するには。

ゾーン分割されていないエンドデバイスの表示	ファブリックのゾーン分割されていないエンドデバイスのリストを表示します。すべてのファブリックまたは現在のファブリックでゾーン分割されていないデバイスを表示できます。
ゾーンの移行	Brocade SAN ファブリックを Cisco MDS 9000 SAN ファブリックに移行するための【ゾーン移行 (Zone Migration)】ウィザードを開きます。詳細については、「 <a href="#">ゾーン移行 (Migrate Zones)</a> 」を参照してください。

# 拡張ゾーン分割

SAN コントローラリリース 12.0.1a から、通常のゾーン分割タイプに拡張ゾーン分割機能が追加されました。

拡張ゾーン分割では、すべての設定が単一の設定セッション内で実行されます。セッションを開始すると、スイッチは変更を行うファブリック全体をロックします。

ゾーン分割タイプで [通常 (Regular) ] ラジオ ボタンを選択し、[VSAN] フィールドの横にある [構成 (Configurations) ] アイコンをクリックして、[拡張ゾーン分割 (Enhanced zoning) ] ウィンドウを表示します。

[拡張ゾーン分割 (Enhanced Zoning) ] ウィンドウには、次のフィールドとその説明があります。

フィールド	説明
スイッチ	スイッチの IP アドレスを指定します。
モード	次のいずれかのスイッチのモードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ Basic</li><li>・ Enhanced</li></ul>
結果	次のいずれかのアクティベーション結果を表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 成功</li><li>・ 失敗</li></ul>
以下によってロックされた設定 DB	ロックされた構成データベースのロール名を表示します。
Action	次のいずれかのスイッチのアクションを表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ オペレーションなし</li><li>・ 変更を確定します。</li><li>・ クリーンアップ</li></ul> 最後の列の [編集 (edit) ] アイコンをクリックして必要なアクションを選択し、[チェックマーク (check mark) ] アイコンをクリックして保存します。
最後のアクション結果	最後の設定データベースのステータスを表示します。

完全な DB マージを強制する	<p>ステータスを有効または無効に表示します。最後の列の <b>【編集 (edit)】</b> アイコンをクリックして必要なアクションを選択し、<b>【チェックマーク (check mark)】</b> アイコンをクリックして保存します。</p> <p>これを有効にすると、アクティブゾーンとローカルゾーンの両方がマージされ、VSAN のすべてのスイッチで同一になります。</p>
フィールド	説明
続きを読む	<p>拡張ゾーンまたは IVR CFS 対応ゾーンの場合、スイッチのゾーン分割 DB に変更が加えられると、commit コマンドが発行されるまで、すべてのゾーンデータが保留中のデータベースにプッシュされません。</p> <p>このフラグは、ユーザーが保留中のゾーン DB (コピー DB) または通常のゾーン DB (有効な DB) からデータを取得するのに役立ちます。最後の列の <b>【編集 (edit)】</b> アイコンをクリックして必要なアクションを選択し、<b>【チェックマーク (check mark)】</b> アイコンをクリックして保存します。</p>
アクティブ化された日付	ゾーンセットがアクティブ化された日付を指定します。

SAN コントローラ Web UI の **【拡張ゾーン分割 (Enhanced Zoning)】** ウィンドウでさまざまな操作を実行するには、次の手順を実行します。

1. **【仮想管理 (Virtual Management)】** > **【ゾーン分割 (Zoning)】** を選択し、必要な **【ゾーンタイプ (Zone Type)】**、**【ファブリック (Fabric)】**、および **【VSAN】** を選択します。
2. **【VSAN】** フィールドの横にある **【構成 (Configuration)】** アイコンをクリックします。  
  
**【拡張ゾーン分割 (Enhanced Zoning)】** ウィンドウが表示されます。
3. **【続きを読む (Read from)】** 列の横にある **【編集 (Edit)】** アイコンをクリックして必要なデータベースを選択し、**【チェックマーク (Tick)】** アイコンをクリックして保存します。
4. モードを基本から拡張に変更するには、**【アクション (Actions)】** > **【モードを拡張に設定 (Set Mode to Enhanced)】** を選択し、**【適用 (Apply)】** をクリックします。
5. 同じ手順に従って、モードを拡張から基本に設定し、**【アクション (Actions)】** > **【モードを基本に設定 (Set Mode to Basic)】** を選択して、**【適用 (Apply)】** をクリックします。



# CFS

Cisco Fabric Service (CFS) は、IVR ゾーン分割のファブリック内で自動的に設定を同期化するための、共通のインフラストラクチャを提供します。CFS が 1 つのスイッチで設定されていて、同じプロパティを他のスイッチで送信できる場合、スイッチで IVR を有効または無効にすることができます。さらに、選択したスイッチで CFS とグローバル CFS の両方を有効または無効にすることができます。

ゾーン分割タイプで **[IVR]** オプションボタンを選択し、**[VSAN]** フィールドの隣にある **[セットアップアシスタント (set-up assistant)]** アイコンをクリックして、CFS ウィンドウを表示します。

CFS ウィンドウでは、以下のタブを表示できます。

- ・ Control
- ・ IVR
- ・ Action

次の表では、**[コントロール (Control)]** タブに表示されるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
スイッチ	スイッチの IP アドレスを指定します。
IVR ステータス	スイッチで IVR が有効または無効であるかを表示します。
編集	<b>[編集 (Edit)]</b> アイコンをクリックしてスイッチの IVR を有効または無効にし、チェックマークをクリックして変更を保存します。
更新	表を更新するには、更新 アイコンをクリックします。
適用	<b>[適用 (Apply)]</b> をクリックして、スイッチ の変更ごとに変更を保存 します。
完了	<b>[完了 (Done)]</b> をクリックしてすべての変更を保存し、CFS ウィンドウを終了します。

次の表では、**[IVR]** タブに表示されるフィールドおよび説明について記述します。

フィールド	説明
スイッチ	スイッチの IP アドレスを指定します。
CFS ステータス	CFS ステータスを有効にするか無効にするかを指定 します。
グローバル CFS	スイッチでこの機能を有効にするか無効にするかを 指定します。
続きを読む	ステータスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 有効な DB</li><li>・ DB をコピー</li></ul>

ロック所有者 (Lock Owner)	スイッチが管理者によってロックされていることを指定します。
結合ステータス	発生したファブリックマージを指定します。
フィールド	説明
地域ID	スイッチのリージョン ID を指定します。
編集	[編集 (Edit) ] アイコンをクリックして、選択した行の [続きを読む (Read from) ] 列および [リージョン ID (Region ID) ] 列の変更を実行します。
適用	[適用 (Apply) ] をクリックして、スイッチの変更ごとに変更を保存します。
更新	表を更新するには、更新 アイコンをクリックします。
完了	[完了 (Done) ] をクリックしてすべての変更を保存し、CFS ウィンドウを終了します。

SAN コントローラ Web UI から IVR タブのスイッチでさまざまな操作を実行するには、次の手順を実行します。

1. スイッチを選択し、[アクション (Actions) ] > [コミット (Commit) ] の順に選択し、[適用 (Apply) ] をクリックして、スイッチで IVR を有効にします。



変更をコミットできるのは、選択したスイッチで CFS が有効になっている場合だけです。

2. スイッチを選択し、[アクション (Actions) ] > [中止 (Abort) ] の順に選択し、[適用 (Apply) ] をクリックしてスイッチの IVR を無効にします。
3. スイッチを選択し、[アクション (Actions) ] > [クリア (Clear) ] を選択し、[適用 (Apply) ] をクリックして、スイッチの IVR 情報をクリアします。
4. スイッチを選択し、[アクション (Actions) ] > [CFS の有効化 (Enable CFS) ] の順に選択し、[適用 (Apply) ] をクリックしてスイッチで CFS を有効にします。
5. スイッチを選択し、[アクション (Actions) ] > [グローバル CFS を無効にする (Disable Global CFS) ] を選択し、[適用 (Apply) ] をクリックして、スイッチで CFS をグローバルに有効にします。

次の表では、[アクション (Action) ] に表示されるフィールドおよび説明について記述します。

Actions	説明
スイッチ	スイッチの IP アドレスを指定します。
アクティブ	スイッチのアクティブステータスが true または false であることを指定します。
アクティベーション時間	アクティベーションの日付と時刻を指定します。
IVR NAT ステータス	IVR ステータスを有効にするか無効にするかを指定します。

自動検出トポロジ	自動検出トポロジステータスが true か false かを指定します
編集	<b>[編集 (Edit) ]</b> アイコンをクリックして、選択した行の IVR NAT ステータス列と自動検出トポロジ列の変更を実行します。
地域ID	スイッチのリージョン ID を指定します。
編集	<b>[編集 (Edit) ]</b> アイコンをクリックして、選択した行の <b>[続きを読む (Read from) ]</b> 列および <b>[リージョン ID (Region ID) ]</b> 列の変更を実行します。
適用	<b>[適用 (Apply) ]</b> をクリックして、スイッチの変更ごとに変更を保存します。
更新	表を更新するには、更新 アイコンをクリックします。
<b>Actions</b>	説明
完了	<b>[完了 (Done) ]</b> をクリックしてすべての変更を保存し、CFS ウィンドウを終了します。

# ゾーンの移行

このトピックでは、Brocade スイッチから Cisco MDS スイッチに SAN ゾーンを移行する手順について説明します。SAN ゾーンの移行には、次の 2 つの手順が含まれます。

- ・ Brocade スイッチからゾーン分割設定をローカルに生成してダウンロードします。
- ・ Brocade ゾーン分割設定の Cisco MDS スイッチへの変換と適用。

Brocade スイッチから Cisco MDS スイッチにゾーンを移行するには、次の手順を実行します。

1. Cisco Nexus Dashboard ファブリック コントローラ Web UI で、**[SAN] > [ゾーン分割 (Zoning)]** の順に選択します。

2. **[ゾーン分割 (Zoning)]** 領域で、**[アクション**

**(Actions)] > [ゾーン移行 (Zone Migration)]** の順

に選択します。**[ゾーン移行 (Zone Migration)]** ウィ

ザードが開きます。

3. スイッチからゾーン分割設定を生成して収集し、ローカルにダウンロードするには、**[Brocade スイッチからアクティブゾーンを取得する (Fetch Active Zones From Brocade Switch)]** オプション ボタンをクリックします。

4. 検出された Brocade スイッチの IP アドレスを **[Brocade スイッチ IP アドレス (Brocade Switch IP Address)]** フィールドに入力し、**[取得 (Fetch)]** をクリックします。

システムは、Brocade スイッチからローカル ドライブに構成を含むテキスト ファイルをダウンロードします。

5. **[Brocade ゾーン構成を MDS に移行する (Migrate Brocade Zones Configuration to MDS)]** ラジ オ ボタンをクリックし、前の手順でダウンロードした構成ファイルを選択します。

6. **[VSAN インデックス (VSAN Index)]** フィールドに、ゾーンを追加する

VSAN を入力します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

7. (オプション) **[拡張ゾーンの有効化 (Enable Enhanced Zone)]** または **[拡張デバイスエイリアスの有効化 (Enhanced Device-Alias Mode)]** チェック ボックスをオンにします。

新しい展開では、拡張ゾーン モードと拡張デバイス エイリアス モードを有効にすることをお勧めしま す。

8. **[移行 (Migrate)]** をクリックして、シスコと互換性のあるゾーン設定ファイルを生成します。

Brocade スイッチの設定が Cisco MDS 9000 シリーズ スイッチと互換性のある形式に変換され、ファ イルがローカル ドライブにダウンロードされます。

9. 設定の変更を目的の Cisco MDS スイッチに適用するには、スイッチの CLI コンソールで、前の手順 で生成されたファイルの内容を実行します。

# ゾーンセット

選択したファブリック、VSAN、およびスイッチに基づいて、[ゾーンセット (Zoneset) ] エリアには、設定されたゾーンセットとそのステータスが表示されます。ゾーンセットを作成、コピー、削除、または編集できます。さらに、ゾーンセットはアクティブ化または非アクティブ化できます。

次の表では、SAN コントローラ [ゾーン分割 (Zoning) ]  
ゾーンセット テーブルに表示されるフィールドと説明について説明します。

フィールド	説明
ゾーンセット名	選択したゾーンセットで設定されているすべての名前が一覧表示されます。ゾーンセット名をクリックすると、スライドイン ペインに概要情報が表示されます。[ゾーンの編集 (Edit Zoning) ] をクリックして、ゾーンセットを編集してアクティブにします。
変更日	ゾーン セットが変更されているかどうかを表示します。
アクティブ化された日付	ゾーンセットがアクティブ化された日付を指定します。

## 手順

1. SAN Controller Web UI からゾーンセットを作成するには、[アクション (Actions) ] > [ゾーンセットの作成 (Create Zoneset) ] の順に選択します。[ゾーンセットの作成 (Create Zoneset) ] ウィンドウが表示されます。
2. ゾーンセットの有効な名前を入力し、[ゾーンセットの作成 (Create zoneset) ] をクリックします。ゾーンセットが作成され、[ゾーンセット (Zoneset) ] エリアに表示されます。
3. ゾーンセットをコピーまたはクローンするには、オプションボタンを選択し、[アクション (Actions) ] > [ゾーンセットのコピー/クローン (Copy / Clone Zoneset) ] を選択するか、必要なゾーン名の最後の列にある [楕円 (ellipse) ] アイコンをクリックします。  
[ゾーンセットのコピーまたはクローン (Clone or Copy Zoneset) ] ウィンドウには 2 つのオプションが表示されます。  
適切なオプションボタンを選択します。次のいずれかを選択できます。
  - [コピー (Copy) ] : 初期ゾーンセットのゾーンのコピーで構成される新しいゾーンセットを作成します。
    - コピーされたゾーンセットを識別するために、文字列を先頭または末尾に追加できます。[タグ (Tag) ] フィールドに有効な文字列を入力し、[名前のプリペンド (Prepend names) ] または [名前のアペンド (Append names) ] ラジオボタンを選択します。
    - [複製 (Clone) ] : ソースゾーンセットと同じゾーンで構成される新しい名前での新しいゾーンセットを作成します。

[名前 (Name) ] フィールドに、新しいゾーンセットの有効な名前を入力します。

- [ゾーンセットのコピー (Copy zoneset) ] をクリックして、ゾーンセットを複製またはコピーします。

クローンまたはコピーされたゾーンセットが [ゾーンセット (Zoneset) ] エリアに表示されます。

4. ゾーンセットを削除するには、[ゾーンセット名 (Zoneset Name) ] 列の横にある [ゾーンセット (zoneset) ] オプションボタンを選択し、[アクション (Actions) ] > [ゾーンセットの削除 (Delete Zoneset) ] の順に選択します。

確認ウィンドウが表示されます。[はい (Yes) ] をクリックして、ゾーンセットを削除します。

5. ゾーン名を編集するには、[ゾーンセット名 (Zoneset Name) ] 列の横にあるゾーン オプション ボタンを選択し、[アクション (Actions) ] > [ゾーンとメンバーの編集 (Edit zones & member) ] を選択するか、必要なゾーン名の最後の列にある [楕円 (ellipse) ] アイコンをクリックします。

選択したファブリックの [ゾーンセット (Zoneset) ] ページが表示されます。

[ゾーン名 (Zone Name) ] 列の横にあるチェックボックスをオンにして、[アクション

(Actions) ] > [ゾーン名の変更 (Rename zone) ] の順に選択します。ゾーンセットの

新しい名前を入力します。[名前の変更 (Rename) ] をクリックします。

6. ゾーンセットを非アクティブ化するには、[ゾーンセット名 (Zoneset Name) ] 列の横にある [ゾーンセット] オプションボタンを選択し、[アクション (Actions) ] > [非アクティブ化 (Deactivate) ] をクリックします。

確認ウィンドウが表示されます。[はい (Yes) ] をクリックして、ゾーンセットを非アクティブにします。

7. ゾーンセットをアクティブにするには、[ゾーンセット名 (Zoneset Name) ] 列の横にあるオプションボタンを選択し、[アクティブ化 (Activate) ] をクリックします。

[ゾーンセットの差異 (Zoneset Differences) ] ウィンドウには、以前にアクティブ化されてからゾーンセットに加えられた変更が表示されます。[Activate] をクリックします。

## Zones

[UI パス (UI Path) ]: ゾーン分割。ゾーンメンバーを選択すると、スライドインパネルが表示されます。

[起動 (Launch) ] アイコンをクリックして、

[ゾーン (Zones) ] ウィンドウを開きます。

選択したゾーンセットに基づいて、そのゾーンセットの下に構成されているゾーンが [ゾーン (Zones) ] エリアに表示されます。[ゾーン (Zones) ] タブを表示するには、ゾーンセットのオプションボタンをクリックし、[アクション (Actions) ] > [ゾーンとメンバーの編集 (Edit zones & members) ] を選択します。[ゾーンセット (Zoneset) ] ウィンドウが表示されます。また、VSAN に有効になっているスマートゾーンがある場合にのみ、true または false が表示されます。

ゾーンを作成、コピー、削除、または複製し、名前を変更することができます。また、VSAN に有効にな

っているスマートゾーンがある場合にのみ、true または false が表示されます。さらに、選択したゾーンセットにゾーンを追加または削除できます。ゾーンテーブルでスマートゾーンを有効または無効にすることもできます。

ゾーンエリアには、次のフィールドとその説明があります。

フィールド	説明
属性別フィルタ処理	必要なゾーン名またはゾーンセットとメンバーを指定して検索できます。
ゾーンセットに追加	ゾーン名を選択し、[ゾーンセットに追加 ( <b>Add to zoneset</b> ) ]をクリックします。
更新	表を更新するには、更新 アイコンをクリックします。

フィールド	説明
Zone Name	<p>ゾーンの名前を表示します。ゾーン名を指定して検索できます。</p> <p>リリース 12.1.2e 以降では、ゾーン名の横にある <b>[トポロジ (Topology)]</b> アイコンをクリックして、ゾーンのトポロジを表示できます。トポロジは、デフォルトで階層型左右レイアウトで表示されます。トポロジ ビューで、ノードにカーソルを合わせるとツール ヒントが表示されます。</p> <p>名前をクリックして、スイッチの概要を表示します。登録手続きを開始するには、<b>[起動 (Launch)]</b> アイコンをクリックして、<b>[スイッチの概要 (Switch Overview)]</b> を表示します。</p> <div style="text-align: center;"> <p>この画面からトポロジ レイアウトに行った変更</p>  <p>を保存することはできません。</p> </div> <p>ゾーン セットのメンバーを表示するには、ゾーン名を選択します。リリース 12.1.2e 以降、<b>[ステータス (Status)]</b> 列には、ゾーン メンバーがオンラインかオフラインかが表示されます。</p>
ゾーンセット内	<p>ゾーンがゾーンセットの一部であるかどうかを指定します。</p> <p>ゾーンがゾーンセットの一部である場合は <b>true</b> を表示します。それ以外の場合は、<b>false</b> を表示します。</p> <p><b>[ゾーンセット内 (In Zoneset)]</b> ドロップダウン リストから true または false を選択して検索できます。</p>
メンバー	<p>ゾーンのゾーンメンバーを指定します。</p> <p>メンバーを指定して検索できます。</p>

## 手順

1. ゾーンを作成するには、**[ゾーン分割 (Zoning)]** を選択します。
2. **[ゾーンセット (Zonesets)]** エリアで、必要なゾーンセット名を選択します。スライドインパネルが表示されます。
  - a. **[ゾーニングの編集 (Edit Zoning)]** または **[起動 (launch)]** アイコンをクリックして、**[ゾーンセット**



(Zoneset) ] ウィンドウを表示します。デフォルトでは、

[ゾーン (Zones) ] タブが表示されます。

3. ゾーンを作成するには、[アクション (Actions) ] > [新しいゾーンの作成 (Create new zone) ] を選択します。
  - a. [新しいゾーンの作成 (Create new zone) ] で、ゾーンの有効な名前を入力し、[作成 (Create) ] をクリックします。
  - b. [新しいゾーンの作成 (Create new zone) ] をクリックします。
  - c. [スマートゾーン分割 (Smart Zoning) ] の横にある選択ボックスを選択して、新しいゾーンのスマートゾーン分割を有効にします。ゾーンが作成され、[ゾーン (Zones) ] エリアに一覧表示されます。

4. スマートゾーンを有効にするには、[ゾーン名 (Zone Name)] の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)] > [スマートゾーン分割を有効にする (Enable smart zoning)] を選択します。

スマートゾーン列は、VSAN でスマートゾーン分割が有効になっている場合にのみ表示できます。

5. スマートゾーンを無効にするには、[ゾーン名 (Zone Name)] の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)] > [スマートゾーン分割を無効にする (Disable smart zoning)] の順に選択します。
6. ゾーンをクローンするには、[構成 (Configure)] > [管理 (Manage)] > [ゾーン分割 (Zoning)] > [ゾーン (Zones)] を選択し、[ゾーン (Zone)] オプション ボタンを選択して [ゾーンのクローン (Clone Zone)] アイコンをクリックします。

[ゾーンの複製 (Clone Zone)] ウィンドウが表示されます。

- a. [名前 (Name)] フィールドに、新しいゾーンセットの有効な名前を入力します。
- b. [クローン (Clone)] をクリックして、ゾーンを複製します。

クローンされたゾーンが [ゾーン (Zones)] エリアに表示されます。

7. ゾーンセットからゾーンの名前を変更するには、[ゾーン名 (Zone Name)] の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)] > [ゾーン名の変更 (Rename zone)] の順に選択します。

[名前 (Name)] フィールドに、ゾーンの新しい名前を入力して、[名前の変更 (Rename)] をクリックします。

8. ゾーンセットからゾーンの名前を変更するには、[ゾーン名 (Zone Name)] の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)] > [ゾーンセットから削除 (Remove from zoneset)] を選択します。

選択したゾーンセットからゾーンが削除されます。ゾーン名の横にある緑色のチェックマークが消え、ゾーンがゾーンセットから削除されたことを示します。

9. ゾーンセットからゾーンを削除するには、[ゾーン名 (Zone Name)] の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)] > [ゾーンの削除 (Delete zone)] の順に選択します。

単一または複数のゾーンを選択して、すぐに削除できます。

ヒ

選択したゾーンセットのメンバーであるゾーンは削除できません。ゾーンを削除するには、ゾーンセットからゾーンを削除します。

## FC エイリアス

ナビゲーションパス: [仮想管理] >> [ゾーン分割] > [ゾーンセット] > [メンバー]

SAN コントローラリリース 12.0.1a 以降、FC エイリアス機能は通常のゾーンでサポートされます。これは、1 つ以上の pWWN を必要な名前に関連付けるために使用されます。ゾーンメンバーを追加すると、FC エイリアスを追加したり、既存の FC エイリアスを削除したりできます。[FC エイリアス (FC Aliases)] タブには、以下のフィールドが表示されます。

- ・ [FC エイリアス (FC Aliases)] : FC エイリアスの名前を指定します。

・ [メンバー (Member) ] : FC エイリアスに関連付けられたメンバーを指定します。FC エイリアス操作を行うには、次の手順を実行します。

1. [仮想的な管理 (Virtual Management) ] > [通常 ゾーン (Regular Zones) ] を選択し、必要なゾーンセット名をクリックします。スライドイン パネル ウィンドウが表示されます。
2. [ゾーン分割の編集 (Edit Zoning) ] または [起動 (launch) ] アイコンをクリックして、[ゾーンセット (Zoneset) ] ページを表示します。ゾーンセットウィンドウが表示されます。
3. [FC エイリアス (FC Aliases) ] タブをクリックして、[FC エイリアス (FC Aliases) ] エリアを表示します。
4. 新しい FC エイリアスを作成するには、[アクション (Actions) ] > [新しい FC エイリアスの作成 (Create new FC Alias) ] の順に選択します。[新しい FC エイリアスの作成 (Create new FC Alias) ] ウィンドウが表示されます。
  - a. テキストフィールドに有効な名前を入力し、[FC エイリアスの作成 (Create FC Alias) ] をクリックします。FC エイリアスが作成され、[FC エイリアス (FC Aliases) ] エリアに一覧表示されます。
5. 新しい FC エイリアスを削除するには、[FC エイリアス (FC Aliases) ] 列の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions) ] > [FC エイリアスの削除 (Delete FC Alias) ] の順に選択します。

## メンバー

UI パス : [仮想管理 (Virtual Management) ] > [ゾーン分割 (Zoning) ] > [ゾーンセット (Zon Sets) ] > [メンバー (Members) ]

選択したゾーンセットとゾーンに基づいて、[メンバー (Members) ] エリアにゾーン メンバーとそのステータスが表示されます。メンバーの詳細を表示するには、[属性別フィルタ処理 (Filter by attributes) ] テキストフィールドに必要なフィールド名を入力します。

メンバーエリアには、次のフィールドとその説明があります。

フィールド	説明
-------	----

ゾーン/FC エイリアス	ゾーンメンバーの名前を表示します。ゾーン名を指定して検索できます。
メンバー	ゾーンのメンバー名を表示します。
スイッチ	ゾーンメンバーがリンクされているスイッチを指定します。スイッチを指定して検索できます。
インターフェイス	ゾーンメンバーが接続されているインターフェイスを指定します。インターフェイスを指定して検索できます。
ステータス	ゾーンの状態を指定します。
ゾーン分割のタイプ	ゾーン分割のタイプを表示します。WWN、FCID、FC エイリアス、または iSCSI、FWWN、デバイスエイリアス、IP サブネットなどのゾーン分割のタイプで検索できます。
FCID	ゾーンメンバーに関連付けられた FCID を指定します。ゾーンメンバーに関連付けられている FCID を指定して検索できます。
pWWN	スイッチの pWWN を指定します。スイッチの WWN を指定して検索できます。

ゾーンセットのメンバーを追加または削除できます。さらに、既存のメンバーを追加したり、既存の FC エイリアスをメンバーに追加したりすることもできます。

SAN コントローラ Web UI から、[仮想管理 (Virtual Management)] > [ゾーン分割 (Zoning)] > [ゾーンセット (Zoneset)] > [メンバー (Members)] を選択して、[ゾーンセット (Zoneset)] ウィンドウのメンバー エリアを表示します。

ゾーンセットとゾーンを選択して、ゾーンメンバーのリストを表示します。

1. 新しいメンバーを作成するには、[メンバー (Members)] エリアで、[アクション (Actions)] > [新しいメンバーの作成 (Create new member)] の順に選択します。

[新しいメンバーの作成と追加 (Create and Add a new Member)] ウィンドウで、適切なゾーンのラジオ ボタンを選択します。テキストフィールドに有効な名前を入力し、[メンバーの作成 (Create Member)] をクリックします。

オプションボタンセクションによるゾーンに基づいて、新しい名前は、すべてのゾーンではなく、選択されたゾーンのみにつけられます。たとえば、WWN ゾーンを選択した場合、テキストフィールドの名前は WWN ゾーンの名前です。同様に、[ドメインとポートゾーン (Domain & Port zone by)] を選択すると、ドメイン ID 番号とスイッチインターフェイス名になります。

[新しいメンバーの作成 (Create new Member)] では、現在ファブリックに存在しないゾーンにメンバーを追加できます。この機能は、デバイス検出ですべてのデバイスが検出されなかった場合に利用できます。追加可能な機能を使用すると、検出されたデバイスをゾーンに追加できます。

2. ゾーンメンバーを削除するには、[親 (Parent)] 列の横にあるチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)] > [ゾーンからメンバーを削除 (Remove Member from zone(s))] をクリックします。

インスタンス内の複数のゾーンを選択して削除できます。

3. 既存のメンバーを追加するには、[アクション (Actions)] > [既存のメンバーの追加 (Add existing members)] の順に選択します。[既存のメンバーの追加 (Add existing members)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウには、次のフィールドとその説明があります。

フィールド	説明
Zone By	<p>[Zone by] 機能は、デバイス WWN またはデバイスエイリアスを使用して、デバイスをゾーンに追加する必要があるかどうかを決定します。[Zone by : エンドポート (Zone By: End Ports)] を選択した場合、デバイスは WWN によってゾーンに追加されます。</p> <p>同様に、デバイスエイリアスと FC エイリアスの場合、デバイスはそれぞれデバイスエイリアスと FC エイリアスによってゾーンに追加されます。選択した Zone by に基づいて、デバイスが表示されます。</p>

メンバー名	ゾーンの名前を表示します。ゾーン名を指定して検索できます。
Type	スイッチがストレージまたはホストであることを指定します。
スイッチ	ゾーンメンバーがリンクされているスイッチを指定します。スイッチを指定して検索できます。
インターフェイス	ゾーンメンバーが接続されているインターフェイスを指定します。インターフェイスを指定して検索できます。
フィールド	説明
pWWN	スイッチの pWWN を指定します。スイッチの pWWN を指定して検索できます。
VSAN	ゾーンメンバーが属する VSAN を指定します。

4. オプションで適切な **[Zone 基準]** を選択し、必要な **[メンバー名 (Member Name)]** を選択します。
5. **[メンバーの追加 (Add Members)]** をクリックします。

ヒ

複数のゾーンを選択できます。ゾーンテーブルで現在選択されているすべてのゾーンのリストを示すダイアログが表示されます。

# アクティブゾーン

次のセクションでは、現用系ゾーンに関して説明します。

## 通常ゾーン

SAN コントローラで設定されているすべての通常ゾーンを表示できます。[分析 (Analyze) ] > [アクティブゾーン (Active Zones) ] > [通常ゾーン (Regular Zones) ] タブを選択します。次の表では、この画面のフィールドについて説明します。

フィールド	説明
グループ	ファブリックの名前を指定します。
VSAN	このゾーンで設定されている VSANS の数を指定します。
ゾーン セット	ゾーンが属するゾーン セットの名前を指定します。
ゾーン	<p>このメンバーが存在するゾーンを表示します。</p> <p>リリース 12.1.2e 以降では、ゾーン名の横にある [トポロジ (Topology) ] アイコンをクリックして、ゾーンのトポロジを表示できます。トポロジは、デフォルトで階層型左/右レイアウトで表示されます。</p> <p>トポロジ ビューで、ノードにカーソルを合わせるとツール ヒントが表示されます。名前をクリックして、スイッチの概要を表示します。[起動 (Launch) ] アイコンをクリックして、[スイッチの概要 (Switch Overview) ] を表示します。</p> <p> この画面からトポロジ レイアウトに行った変更を保存することはできません。</p>
スイッチインターフェイス/WWN	ゾーンメンバーが接続されているスイッチのスイッチインターフェイスまたは WWN を指定します。
PWWN	スイッチに関連付けられた pWWN を指定します。
メンバー名	ゾーンメンバーの名前を表示します。
ゾーン分割のタイプ	ゾーン分割のタイプを表示します。WWN、FCID、fcAlias、iSCSI などのゾーン分割のタイプで検索できます。

## IVR ゾーン

IVR ゾーン SAN コントローラで設定されているすべての IVR ゾーンを表示できます。[分析 (Analyze) ] > [アクティブゾーン (Active Zones) ] > [IVR ゾーン (IVR Zones) ] タブを選択します。次の表では、この画面のフィールドについて説明します。

フィールド	説明
グループ	ファブリック名を指定します。
VSAN	このゾーンで設定されている VSANS の数を指定します。
ゾーン セット	ゾーンが属するゾーンセットの名前を指定します。
ゾーン	このメンバーが存在するゾーンを表示します。
スイッチインターフェイス/WWN	ゾーンメンバーが接続されているスイッチのスイッチインターフェイスまたは WWN を指定します。
PWWN	スイッチに関連付けられた pWWN を指定します。
メンバー名	ゾーンメンバーの名前を表示します。
ゾーン分割のタイプ	ゾーン分割のタイプを表示します。WWN、FCID、fcAlias、iSCSI などのゾーン分割のタイプで検索できます。



# 著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または黙示のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco およびCisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認いただけます。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.